

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		PARCひがしおおさか			公表日		2026年 2月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		同時間利用は原則利用児様2人までで対応しております。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		ご利用児様一人に対してスタッフが1人ついて療育を行っております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		運動をメインとした芝生スペースと、机上活動ができるスペースを確保しております。また、保護者スペースやトイレなども空間を分けております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎時間スタッフによる片付けを行い、消毒も行っております。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動場所の決定はご利用児様に決めています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		事業所の会議の中で、事業改善の話し合いの機会を設けている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者対応や意見箱により、保護者の意見を収集するように努めている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議などで意見の有無の確認を行い、業務改善に努めております。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内で研修の案内を行っております。また、スタッフそれぞれが研修に参加しております。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		期限内にアセスメントを行い、お子さまそれぞれの個別支援計画の作成を行っております。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画の原案を作成した後、スタッフ間で会議を行い、本案の作成を行っております。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		スタッフ間で共有を行い、日々療育前に確認できるようにしております。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ケース会議を設け、プログラムの立案をチームで検討している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		工夫するようにしている。	本人主体の療育である為、固定化しないように本人の興味のあるものから別の遊びなどを提案している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		2人同時利用であるため、小集団での活動をた まに取り入れるようにしている。	集団療育は年1～2回程度しか実施できていな いため、今後集団療育も実施できるようにし ていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のミーティングの時間を取って内容等を共 有するようにしている。	より専門性をもった療育にしてい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		話し合う機会を設けるようにしている。当日 離せない場合、次の日など早めに共有するよ うにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	○		必ず、記録を残すようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性 を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		実施している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発菅だけでなく担当スタッフも参加するよ うにしている。	担当スタッフも参加できるようにスケジュー ル調整していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の 観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども 園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報 共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問などに繋げるなど、連携支援を 行っている。	より密に学校や園などと情報共有していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問などに繋げるなど、連携支援を 行っている。	より密に学校や園などと情報共有していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携 を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受け たり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極 的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		今後、そういった機会を設けるようにしてい く。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスー パーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこど もと活動する機会があるか。		○		地域との交流などの機会を設けていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	○		毎回ペアレントトレーニングを実施している ため、保護者との状況の共有はしっかりと行 えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	○		毎回ペアレントトレーニングを実施している ため、保護者との状況の共有はしっかりと行 えている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行 っているか。	○		契約、初回利用の際に丁寧に説明するよう にしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、 こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の 意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングの時間をしっかりと取るように している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者 から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応 じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎回、療育の際に時間を取り、療育内容だけ でなく子育ての悩み相談もしている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後、保護者会などを開催していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応するようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagram等で情報発信をしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、訓練も実施しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		作成しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご契約時にお伺いしております。また、随時体調の変化などお話を伺っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		普段は食事の時間がありませんが、集団療育などで食品を使った活動がある際は、保護者様に事前に十分な確認を行っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、必要な研修や訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		書類を作成し、スタッフ間で共有しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内の必須研修をスタッフ全員受けております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		ご契約時に説明を行っております。	